【仕様表】

製品名	IHI LibSys 3 （2013年2月発売予定）	IHI LibSys 5 （2013年2月発売予定）	IHI LibSys 20	IHI LibSys 30 （2013年2月発売予定）
定格出力	2.1kW/3kVA	3.5kW/5kVA	16kW/20kVA	24kW/30kVA
定格出力電圧	単相2線100V 単相3線200V		三相3線200V （単相2線100V）※OP仕様	
蓄電池容量	5.8kWh	9.9kWh	15～45kWh	15～45kWh
入力電圧	単相2線100V	単相3線200V	三相3線200V	三相3線200V
最大入力容量	3kVA	5kVA	21kVA	31kVA
使用環境条件	【設置条件】:屋内設置　【温度】:0～40℃　【湿度】:30～90%　【設置床強度】:500kgf/㎡			
本体寸法	W605×H1800×D750mm		W800×H1800×D750mm（蓄電池容量15kWhまで） ※上記容量以上は別途寸法をご提示致します。	
筐体構造仕様	耐震ランクS（2.0G）			
機能一覧	・ピークシフト機能（スケジュール運転） ・自立運転機能 ・UPS機能		・ピークシフト機能（スケジュール運転） ・自立運転機能 ・UPS機能 ・再生可能エネルギー発電連携 （DC/DCチャージ機能）※OP仕様 ・系統連系 ・各種EMS（エネルギー管理システム）連携 ・蓄電池負荷配分	

⚠ 安全に関するご注意

●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。

●このカタログの記載内容は2012年5月現在のものです。

●カタログに記載の仕様、寸法および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●商品の色調は印刷の都合により、実際の色とは異なって見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●所在地は変更になる場合がありますのでご了承ください。

株式会社IHI

リチウムイオン電池事業推進部
営業・マーケティンググループ

【お問合せ先】
株式会社　トーメンエレクトロニクス

営業本部 第二SBU 第三営業部
〒108-8510
東京都港区港南1-8-27 日新ビル
TEL (03)5462-6936
URL http://www.tomen-ele.co.jp

91402-001-00-1205-200 Printed in Japan

Explore the Engineering Edge

IHI

IHIリチウムイオン蓄電池システム

株式会社IHI

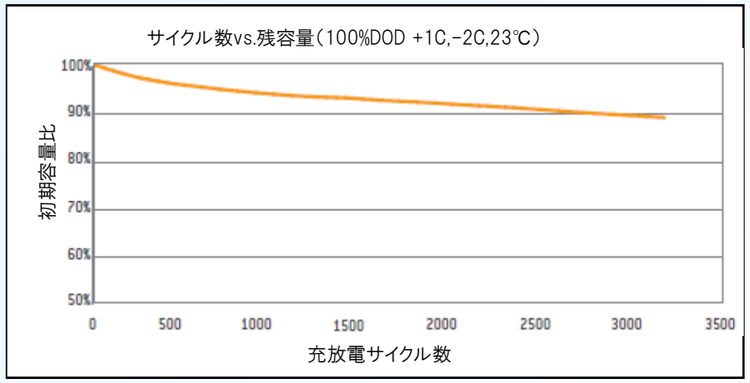
IHI-A123 リチウムイオン電池の特長

特長1　優れたバッテリー寿命

＋ 放電深度*100%の充放電サイクルを約3,000回繰り返した後でも初期容量の90%を残しています。

＋ 寿命末期においても内部抵抗の上昇は10%以下で、最後までパワーが衰えません。

*放電深度…電池の定格容量に対する放電電気量の比率。



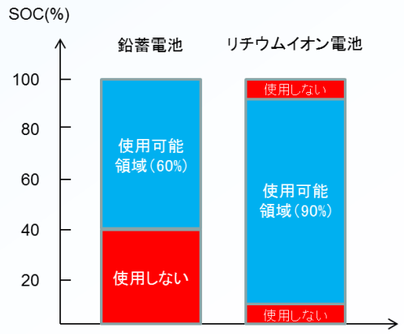
特長2　高い安全性

＋ A123Systems社が開発した『Nonophosphate®（オリビン型リン酸鉄リチウム）』を正極材に使用した電池を採用。

＋ リンと酸素の結合が強いため、800℃の高温でも酸素の離脱が起きにくく、安定的。

＋ 釘刺し・短絡・圧潰などの過酷試験においても熱暴走による発火・爆発等を起こさない、

鉛蓄電池との比較



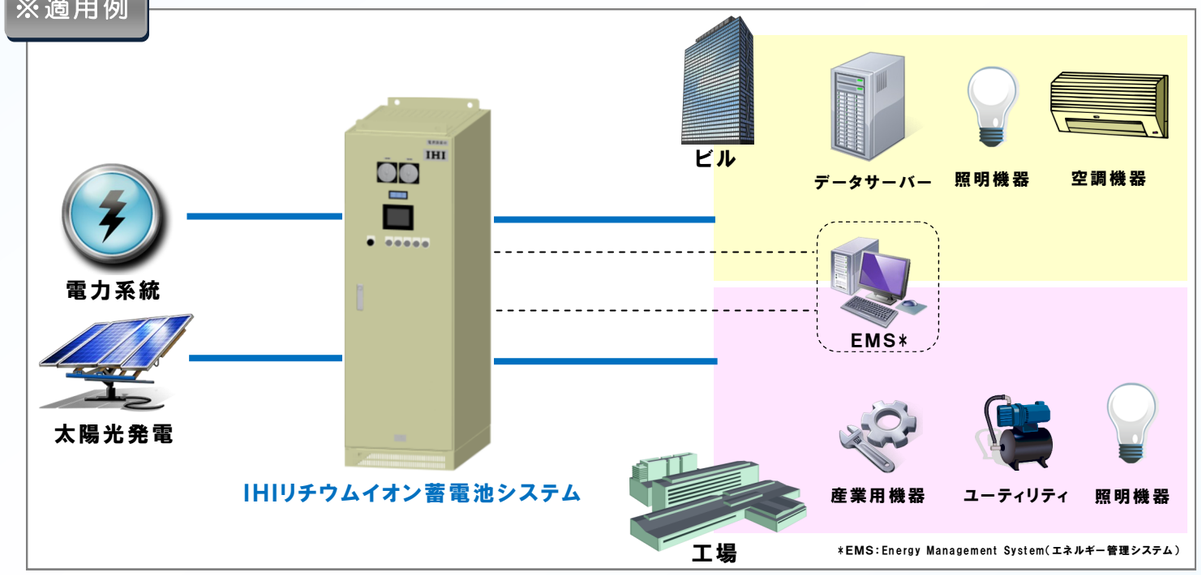
※同じ表記容量でも使用可能な容量はLIBの方が多い

特長3　大実効容量

＋ 鉛やニッケル電池などよりも高密度・高出力なので、軽量・コンパクト化が可能。

＋ ニカド電池のようなメモリー効果も無く、自己放電が小さい。

※適用例

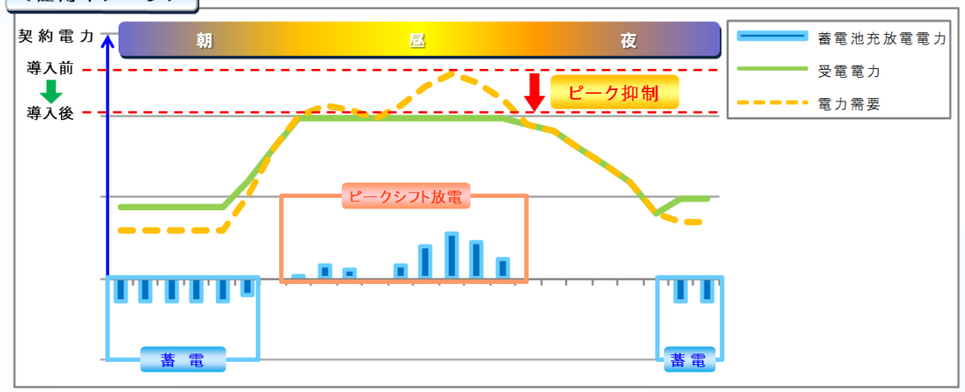


蓄電池システム　機能概要

◆ピークシフト機能

夜間電力を蓄電し、タイマー設定により昼間など需要の多い時間帯に自動的に放電。
ピーク時の受電電力量を抑制し、契約電力削減と電力使用制限に対応します。

＜運用イメージ＞



◆非常時蓄電池機能

災害発生や計画停電等の非常時に備えて一定の電池残量*を維持。（*維持する残量は任意に設定が可能）
バックアップ電源として必要な電気容量を確保し、安定した電力を供給します。

◆UPS機能

常時インバータ方式採用により、雷などの影響による瞬時電圧低下が起きた時も
自動で蓄電池出力へ切り替えることで、瞬断から重要機器（生産設備・データサーバー等）を守ります。

◆再生可能エネルギーシステムとの連系

各種太陽光発電・風力発電システムとの組み合わせ、系統連系盤との組み合わせ可能。
すでにお使い頂いている発電システムを有効活用できます。

◆システム拡張性

蓄電池の容量は、15kWh～45kWhまで10kWhステップで選択可能。
蓄電池パックは後付けで増設可能。将来の必要蓄電池容量増加にも容易に対応できます。

◆カンタン操作

基本操作部にはカラータッチパネルを採用。
蓄電池システムの状態を一目で把握でき、誰でも簡単に操作できます。